

山行名	吉野山(青根が 峰858m) 観桜ハイキング・飛鳥遺跡ウォーキング [奈良県]			
実施月日	H23年4月14日(木)～15日(土) [往復夜行1泊2日] 往復高速夜行バス利用			
天候/参加人員	天候：晴一時小雨 レベル：★☆☆ 参加人員(申込：14人/実行：14人 [男4/女10])			
パートスタッフ	CL/計画：、SL：、会計：、救護： 氏名削除			
参加メンバー	A班： B班： 氏名削除			
費用	<p><b>約31,200円</b> (交通費¥16,350+宿泊代¥11,790+その他雑費¥2,885+カハ金¥175)</p> <p>内訳 交通費：高速バス(本厚木-奈良往復@13,410x14)¥187,740、近鉄天理-大和上市(回数券利用@700x13)¥9,100、近鉄(吉野-橿原神宮前(回数券利用@460x13)¥5,980、タツ(大和上市-蜻蛉/滝@3610x4台)¥14,440、近鉄(橿原神宮-飛鳥(回数券利用@170x13)¥2,210、近鉄(橿原神宮-奈良(回数券利用@480x13)¥6,240、路線バス(甘樫丘-橿原駅東口@240x14)¥3,360/①交通費計¥229,070、宿泊費：橿原ロイヤルホテル(@11,150x14)¥156,100、飲み物代(ホテル中壘@800x10+ローン茶460x2)¥8,920/②宿泊費計¥165,020、雑費：吉野如意輪寺拝観料(@400x14)¥5,600、高松塚壁画館(@250x14)¥3,500、橘寺(@350x14)¥4,900、石舞台古墳(@250x14)¥3,500、岡寺(@300x14)¥4,200、飛鳥寺(@350x14)¥4,900、柿の葉すし(@870x14)¥12,180、伊豆(@300x2)¥600、通信費¥1,000/③雑費計¥40,380/費用合計(①+②+③)¥434,470、 集金(@31,200x14)¥436,800-支出¥434,470=残金¥2,330 (カハ金会計に繰入)</p>			
4/14 吉野山	行動時間	歩行時間	休憩時間	下見山行(無)
ガイトブック上		3:55	—	行動時間比(実行/計画) 0.975
計画	8:00	4:10	3:50	歩行時間比(実行/計画) 1.260
実行	7:48	5:14	2:34	〃(実行/ガイトブック) 1.340
実行コースタイム記録				
◆4/14(木) 天候：終日晴(吉野山ハイキング：累積標高差登り650m/下り750m/歩行距離15km/歩数約30,000歩)				
(集合24:00) 奈良交通高速バス 近鉄天理線 橿原線 吉野線 近鉄タツ (柿の葉すし) 0:05 0:03 (朝食/トム) 1:00				
本厚木バス停==天理駅==平端==橿原神宮前==大和上市==平宗本店==蜻蛉/滝駐車場-蜻蛉/滝-蜻蛉/滝園地-トム沢出会先				
出発24:25 6:18/6:28 6:34/6:38 6:59/7:15 8:03/8:14 8:15/8:24 8:40 8:45/8:52 8:55/9:20 10:20/10:25				
0:53 0:11 0:05 0:24 0:17(昼食/トム) 0:17 0:10 0:13 0:33 (中休止) 0:25 0:38				
—奥駆道分岐—青根が 峰頂上—女人結界—西行庵—金峰神社—高城山展望台—水分神社—花矢倉—如意輪寺—蔵王堂—				
11:18 11:29/11:35 11:40 12:04/12:08 12:25/13:03 13:20/13:30 13:40/13:50 14:03/14:07 14:40/15:10 15:35/15:50				
近鉄吉野線				
—近鉄吉野山口==橿原神宮前—橿原ロイヤルホテル(泊)				
16:28/16:38 17:33 17:37到着/夕食19:00~21:00/就寝22:00~				
◆4/15(金) 天候：晴れのち一時小雨(明日香村ウォーキング&奈良散策；行動時間約7時間+1時間/歩数約35,000歩)				
(朝食7:00~) 近鉄吉野線 (昼食/トム) 路線バス¥240				
橿原RH-橿原神宮駅=飛鳥駅-猿石/高松塚古墳/鬼の雪隠・俎/亀石/橘寺-石舞台-岡寺-飛鳥寺-甘樫丘-甘樫バス停==				
8:17 8:20/8:29 8:35/8:45 11:10/12:05 12:30/12:45 13:10/13:30 13:50/14:11 14:21/14:31				
近鉄橿原線 近鉄奈良線 (一端解散・自由行動/散策/夕食) 路線バス(夕食)高速夜行バス				
橿原神宮駅東口-橿原神宮-橿原RH-橿原神宮駅=大和西大寺=近鉄奈良-JR奈良-(興福寺・東大寺南大門)=JR奈良駅=本厚木バス停				
14:42 15:00/15:06 15:30/16:15 16:18/16:24 17:07 17:40 18:30 18:52/22:16 4/16; 5:05着				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>数年前に観光ツアーで吉野山下千本と中千本のさわりのサクラを見たことがあり、今度はサクラのベストシーズンに吉野山頂上から1日かけてゆっくりハイキングしたいと思っていた。Msンが勤めていた会社のグループ会社が経営するホテルが橿原にあり、格安で宿泊できるので、本厚木から往復とも夜行バスを利用し、このホテルを基点に1泊2日行程で、吉野山観桜ハイキングと明日香村の飛鳥遺跡を効率よく巡る計画を立案して、提案山行として提案したところ14名のメンバーが手を挙げた。2ヶ月前売り出しの高速バスの手配と橿原ロイヤルホテルの10畳和室6部屋を早々に押さえて準備万端整えたところに、3/11に東日本大震災があり、一時は実施が危ぶまれたが、当初からエントリーした14名全員揃って実施できたのは何よりであった。</p> <p>◆4/14(木) 4/13(水)深夜24:00本厚木高速バス停に全員集合。ダイヤニラント 発品川・横浜経由奈良行き的高速バスに乗車、一路奈良に向かった。我々が座っても3列28席クイックシート的高速バスに少し空席はあった。発売日に一番良い席(前から2~6列)を確保してあったので、多少揺れがあっても熟睡とは行かなかったが、比較的快適な夜行バスの旅が出来た。</p> <p>早朝6時過ぎに天理駅に到着。近鉄電車を2度乗り継ぎ、大和上市駅に計画より一電車早く到着。予約しておいた吉野近鉄タツ4台に分乗し、途中創業150年超の柿の葉すしの老舗平宗吉野本店に立ち寄り、予約しておいた柿の葉すしを受け取って登山口の蜻蛉/滝駐車場に無事到着した。徒歩約5分の距離にある蜻蛉/滝を見学。落差が約50mもあるなかなか立派な滝であった。紅ダケサクラの咲く公園に戻って、ひだまりの休憩卓に陣取ってしばし朝食タイム。近鉄吉野線の電車の中で朝食をと思っていたが、車内は通学の中高校生で満員で食事どころではなく、やむなく少々遅い朝食になった。</p>				

ここから青根が峰に登るコースはかつて松尾芭蕉も辿った道であるというが、その割に道標も少なくマザな登山道のような。一部舗装道路を歩くところもあるが、ひたすら音無川の右岸を遡ること約1時間でヒコ谷の木橋を渡り、源流に達すると、爺坂婆坂の急登が約1時間続く。この冬中冬眠していて、今年になってTTC山行初参加のSmが遅れがちで、追い抜いた大阪の7人パーティに一端先を譲ったが、青根が峰頂上への先陣は遠方から遙々やってきた我々に譲って頂いた。何の展望もない平凡な頂上は記念写真1枚の撮影だけに留め、西行庵に向かった。

ここから大峯奥駈道が伸びており、行き交うのは登山者のみで、ここまで足を伸ばす観光客はいない。頂上から女人結界の石碑を経て約30分南に回り込むように下ったところに四畳半一間ほどの庵がボツと佇んでおり、これが目的の西行庵であった。西行法師は吉野の桜が大のお気に入り、若い時から幾度も吉野を訪れ、この庵に長期滞在して沢山の歌を残している。「吉野山花の散りにし木の下に留めし心はわれを待つらん」「吉野山こぞの枝折り道かへてまだ見ぬかたの花を尋ねん」。西行は彼が詠んだ最も有名な「願わくは花の下にて春死なんそのきさらぎの望月のころ」の歌通り、1190年桜咲く季節の旧暦2月16日に73歳で永眠したという。

吉野山の主稜線に戻ると、奥千本の中心地に位置する金峰神社に到着。早速お参りを済ませてから、柿の葉ずしを広げてのランチタイム。内容は鯖3/鮭1/山菜巻き3/わらび巻き3+桜くず餅1個で価格は870円。さすが老舗お薦めの弁当だけあって美味。金峰神社下の斜面の杉の木が大々的に伐採され、その後にはヤマザクラが植樹されたばかり。あと10年もすればヤマザクラのピンクで綺麗に彩られるのだろうが、いまは痛々しい限りだ。ここまで来るとハイカーや観光客の姿が目立ち、登山道から舗装道路にかわり、時折車が行き交い趣を損なう。途中車道はずれ、標高698mの高城山に立ち寄った。展望台からの眺望は抜群だったが、ヤマザクラは開花直前で、迫力は今ひとつだ。少し下ったところに位置する吉野水分神社。社殿は改修工事中で幕が掛かっており少々残念！入口のしだれ桜は3分咲き。アイスクリームをほおぼりながら上千本最大のビューポイント「花矢倉」に向かう。

上千本の上縁にある花矢倉から見下ろす景観は、あまりに見事！ムバから思わず歓声があがる。まだ5分咲き程度だが、斜面を埋め尽くすヤマザクラの花々と、さらに下に向かってピンクの絨毯が続き、その中に蔵王堂の大伽藍がアクセントを添える。この付近まで下りて来ると観光客がめっきり多くなり、アスファルト道路を歩くのも足に悪い。そこで、ここから再び山道に入り、中千本のビューポイントである如意輪寺に向かう。人影まばらで完全な登山道を約30分下り、中千本の大駐車場を横切ったところが南朝ゆかりの如意輪寺。庭園拝観料を払って境内を散策。宝物館で仏像を見学する人、三重の塔の周りを散策して、汐見桜や山桜を愛でる人、見晴らし茶屋の一角に陣取り、満開の中千本の景観を愛でながら、お抹茶や桜くず餅、桜茶を楽しむムバ、後醍醐天皇陵を参拝するムバ等、思い思いに優雅なひとときを過ごした。

如意輪寺からはほぼ満開の中千本の斜面を温泉谷に下り、五郎兵衛茶屋を経由するハイキングコースを桜を愛でながらのんびり歩いて対岸のメイン道路に戻ると、道路の両側にはヤブ屋や茶店が並ぶ商店街。そこを少し下ると吉野山のシンボルである金峰山寺蔵王堂の大伽藍に到着する。早速お賽銭を上げて家内安全を祈願し、国宝の仁王門を潜って、下千本の七曲がりを下って近鉄吉野駅に急ぐ。何しろ、ホテルに6:00pmまでに到着するためには、寄り道している時間がない。美味しそうな草餅やくず餅を横目で見ながら心を鬼にして通過。吉野山の最後のサウナとなる満開の下千本のヤマザクラを愛でながら七曲がりを下って、大勢の観光客で混雑している近鉄吉野駅に到着。CLの万歩計の歩数は29980歩を示していた。予定より一電車早い各駅停車に約1時間乗車して橿原神宮駅まで戻り、今夜の宿泊先である橿原ホテルに5:40pmに無事到着。まず、水出しコヒで作ったアイスコヒのウェルカムドリンクで喉を潤す。

各部屋に入って旅装を解き、すぐにお風呂で汗を流す。天然の塩化物泉で、男性は檜風呂、女性は岩風呂、翌朝は男女入れ替えて両方の風呂が楽しめた。部屋は備長炭でデコレーションされた10畳和室6部屋に、女性2/2/3/3人、男性2/2人のゆったり配置。3万歩の疲れと汗を流して備え付けの作業衣に着替え、7:00PMからホテル内個室での和風懐石料理を2時間かけてたっぷり味わう。奈良の料理人として名のある横井泰彦料理長による4月月替わり「卯月懐石」12品に、ホテルからのサービス「握り寿司」を加えた13品目。質量ともにムバに満足頂けたようだ。ちなみにこの懐石料理の値段は6,930円。TTC山行ではまず利用したことのない奈良で10本の指に入る客室366室のAランクホテル。設備、料理、サービスとも80点以上の点数は文句なしにもらえるだろう。今回は会計係のMsの尽力により1泊2食付き11,150円(宿泊料金11,000円+入湯税150円)の格安料金で高級ホテルに宿泊できた。

◆4/15(金) 夜行バスと3万歩の吉野山ハイキングの疲れで、昨夜は全員熟睡できたようだ。朝風呂に入って目を覚まし、7:00amからのハイキング朝食を摂ってから、8:10AM過ぎにホテルのロビーに全員集合。不要な荷物をホテルに預けて身軽になって、近鉄電車に2駅乗って飛鳥駅で下車。ここから明日香村に点在する飛鳥遺跡巡りウォーキングのスタートだ。まず、吉備姫王墓の4体の猿石から始まり、高松塚古墳と壁画館、鬼の雪隠/鬼の俎、亀石、聖徳太子誕生の橋寺、飛鳥遺跡のハイト石舞台。よく整備された飛鳥周遊歩道を遠足の小学生達と前後しながらウォーキング。どこもかしこもサクラが咲き誇り、緑が目染みる。昼食後、本日の難所岡寺から明日香村を眺め、日本最古の寺「飛鳥寺」の大仏を参拝した後、蘇我馬子の首塚を経由して、蘇我馬子の屋敷があったという甘樫の丘に登り、畝傍山、耳成山、天香具山の大和三山を眺め、飛鳥時代のマミにしぼしぼける。路線バスで一端橿原神宮駅前まで戻り、橿原神宮に参拝。畝傍山を背景にした広大な敷地に神武天皇を祀るこの神社のスケールの大きさに圧倒される。

一時降り出した雨もほどなくして止んだが、ホテルに戻って荷物を纏め、今夜の夜行バスの乗車地の奈良に移動。コインロッカーに荷物を預けてから一端解散。11名で、暗くなり始めた奈良の街を散歩しながら興福寺の五重塔、東大寺南大門まで足を伸ばす。奈良は中学校の修学旅行以来50数年ぶりというムバが何人もいた。一端JR奈良駅に戻り、夕食の場所を探すが、金曜日の夜とあって、どこの居酒屋も満員。仕方なくガストに入って、生ビールで乾杯し、ムバで定食で夕食とし、夜行バスが出る10:00pm近くまでのんびり過ごす。帰りの奈良交通バスの座席も往路と同じ。座席はほぼ満席。2日間のややハードな観桜ハイキングと史跡巡りウォーキングの疲れがドット出て、皆さんそれなりによく眠ったようだ。かくして、往復夜行バス利用の「湯ったり山行」は天候に恵まれ、花に恵まれ、美味しい料理を楽しんで、満足のうちに終わることが出来た。ご協力に感謝！